CLIPPEDIMAGE= JP358105632A

PAT-NO: JP358105632A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 58105632 A

TITLE: RECEIVER

PUBN-DATE: June 23, 1983

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

NAKAGAWA, MIKIO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME COUNTRY

MITSUBISHI ELECTRIC CORP N/A

APPL-NO: JP56204670

APPL-DATE: December 17, 1981

INT-CL (IPC): H04B001/16;H04B007/24

US-CL-CURRENT: 455/343

ABSTRACT:

PURPOSE: To reduce power consumption by intermittently supplying electric power

to a waiting circuit in waiting status.

CONSTITUTION: Square wave pulse signals are continuously applied

from a

monostable oscillating circuit 6 to a switching circuit 7 to intermittently

drive the circuit 7. The circuit 7 supplies electric power to a low power

circuit which operates in reception waiting status and actuates the circuit 1

only when the circuit 7 is on. At the reception of radio waves, a detection

signal is outputted from a signal detecting circuit 2. The detection signal

turns on a switching circuit 4 to actuate an ordinary receiving circuit. At

the same time the operation of the monostable oscillating circuit 6 is stopped.

COPYRIGHT: (C)1983,JPO&Japio

(19) 日本国特許庁 (JP)

⑩特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭58—105632

⑤Int. Cl.³ H 04 B 1/16

識別記号

庁内整理番号 6442-5K 6429-5K ❸公開 昭和58年(1983)6月23日

発明の数 1 審査請求 未請求

(全 3 頁)

匈受信機

20特

願 昭56-204670

②出 願 昭56(1981)12月17日

7/24

⑫発 明 者 中川幹雄

尼崎市南清水字中野80番地三菱

電機株式会社通信機製作所内

⑪出 願 人 三菱電機株式会社

東京都千代田区丸の内2丁目2

番3号

⑩代 理 人 弁理士 葛野信一 外1名

明 編 1

1. 発明の名称

受價機

2 特許請求の範囲

3.発明の詳細な説明

との発明は、携帯無線機などのようにパッテリを電源とし、同報無線のように親局からの電波を 待ち受けている時間が長い受信機に関するもので 88.

従来、受信符機時間の長い受信機は一般に第1 図に示すような構成になつている。すなわち、受 信機の入力部より検波・増巾に至るまでの比較的 消費電力の少ない低電力回路(1)、受信機の入力信 号もしくは所望相手局よりの信号を検知する信号 検出回路(2)、受信検出音声信号を増巾し、スピー カから出力する消費電力の大きい大電力回路(3)。 およびこれを動作させるための電源供給スイッチ 回路(4)から構成されている。

上記機成において、上記低電力回路(1)には、常時、電源(5)から電力が供給されており、大電力回路(3)は通常電源供給スイッチ回路(4)の OPF 動作により電源(5)からの電力供給が断たれている。

受信入力または受信入力の中の当該受信機を助作させるための信号が信号検出回路(2)により検出されると、電源供給スインチ回路(4)の ON 動作により、大電力回路(3)に電源(5)から電力の供給がなされ、音声信号が増巾されてスピーカより音声が伝達される。

符開昭58-105632 (2)

この発明は上記欠点を改善するためになった。 もので、通常時は低電力回路に関欠的に電源を 給して信号受信の待機状態に保持すると同時に にのみ低電力の低減化を達成し、信号受信 時にのみ低電力回路など大電力回路に でのみ低電力を供給するとにより、受信待機 を おける消費電力を大幅に低減できる受信機を提供 するととを目的とする。

以下、との発明の実施例を図面にしたがつて説

いま、所望の電波が受信された場合、信号検出 回路(2)がこの受債入力(a)中における当該受債機を 動作させるための信号(b)を検出することができる ように、単安定発振回路(6)からのパルス個号(c)の パルス巾を設定しておけば、上配発振回路(6)から のパルス信号(c)の発生中に、低電力回路(1)がスイ ッチ回路(7)を介して電源(6)から電力(v)の供給を受 けて動作し、この検出回路(2)からの出力信号(d)に より、単安定発振回路(6)の発振を停止させるとと もに、スイツチ回路(4)。(7)を ON 動作させ、受信 入力(a)の受信中、低電力回路(i) および大電力回路 (3)を連続的に駆動し、受信入力(4)の増巾・検波を 行なつて音声出力が伝達される。上記所望の受信 入力(a)がなくなれば、借号検出回路(2)によりその 受信入力(a)がなくなつたことを検出され、もとの 待ち受け状態に復帰し、低電力回路(1)は間欠的に 勤作し、大電力回路(3)は動作を停止する。

以上詳述したように、との発明の受信機によると、待ち受け状態の長い用途の受信機において、 動作時も含めた長時間における全体の消費電力を 明する。

第2図において、第1図と同一部分には同一番 号が付されている。 (6) は待ち受け状態における低電力回路 (1) の消費電力を数分の1に決定する単安 定発振回路、(7) はこの回路 (6) からの出力により ON , OPP 動作をして低電力回路 (1) に電源 (5) からの電力を関欠的に供給する電源スイッチ回路である。

つぎに、上記構成の作動について説明する。

単安定発援回路(6) は常に動作して短形波が水の 付 の N・O BP 動作させ、低電力回路(1) に電源(5) かに 配動する。 とのとき、低電力回路(1) に電源(5) から に 電力供給をする B と、電力供給をするが、 で の との との との から の が で の が で の が で から に 定 の が で な かい で で と で で な かい で で な かい で で な かい で で な かい で で で な かい で で な かい で で を る かい で で も の を 容 易 に 製作 で き る 。

従来に比し大幅に低減でき、これにより、電源を パッテリから太陽電池にかえることが容易となり 受信機の省エネルギ化や、山頂などの商用電源の ない所への装置の設置がきわめて容易となる利点 がある。

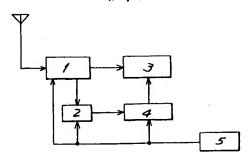
4.図面の簡単な説明

第1図は従来の受信機を示すプロック図、第2 図はこの発明の受信待機時間の長い受信装置における受信機の一実施例を示すプロック図である。

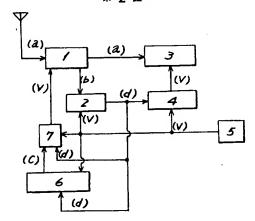
(1) … 低電力回路、(2) … 信号検出回路、(3) … 大電力回路、(4) … 大電力電源供給スイッチ回路、(5) …電源、(6) …間欠駆動回路(単安定発振回路)、(7) … 低電力電源供給スイッチ回路。

なお、図中、同一符号は同一もしくは相当部分を示す。

代理人 萬野信一(外1名)



第 2 図



19 日本国特許庁 JP:

总特許出願公開

æ公開特許公報 (A)

昭58-105632

1. Int. Cl. 1 H 04 B 1/16 7/24

識別記号

庁内整理番号 6442-5K 6429-5K 43公開 昭和58年(1983)6月23日

発明の数 1 審査請求 未請求

(全 3 頁)

分受信機

20特

顧 昭56-204670

②出 願 昭56(1981)12月17日

② 発明 者 中川幹雄

尼崎市南清水字中野80番地三菱

電機株式会社通信機製作所內

印出 願 人 三菱電機株式会社

東京都千代田区丸の内2丁目2

番3号

砂代 理 人 弁理士 葛野信一

外1名

ų

-

1.発明の名称

受信機

2 特許請求の範囲

(1) 低電の大きに、 (1) 低電の (1) 低電の (1) 低電の (1) 低電の (1) に (1) を (1) に (1

3.発明の評細な説明

との売明は、携帯無線機などのようにパッテリ を電源とし、開報無線のように乗局からの電波を 待ち受けている時間が長い受信機に関するもので 88.

従来、受信符機時間の長い受信機は一般に第1 図に示すような構成になつている。すなわち、受信機の入力部より検戦・増中に至るまでの比較的 消費電力の少ない低電力回路(I)、受信機の入力値 号もしくは所望相手局よりの信号を検知する信号 検出回路(2)、受信検出音声信号を増中し、スピー カから出力する消費電力の大きい大電力回路(I)、 シよびこれを動作させるための電源供給スイッテ 回路(I)から構成されている。

上記様成において、上記低電力回路(1)には、常時、電源(5)から電力が供給されており、大電力回路(3)は通常電源供給スインテ回路(4)の OPP 動作により電源(5)からの電力供給が断たれている。

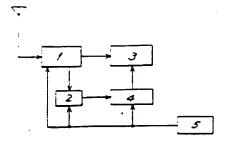
受信入力または受信入力の中の当該受信機を動作させるための信号が信号検出回路(3)により検出されると、電源供給スインテ回路(4)の OH 動作により、大電力回路(3)に電源(6)から電力の供給がなされ、音声信号が増巾されてスピーカより音声が伝達される。

名と同一部分には同一書 こゆら受け状態にかける低 で数分の1に決定する単虫 ∃路(8)からの出力によりON 7回路(1)に電板(5)からの電 電磁スイッチ回路である。 乍動について説明する。 すに動作して炬形投バルス てスイッチ回路(7)を間欠的 、 佐電力回路(1)を耐欠的に 垂電力回路(1)に電源(5)から 、電力供給をしない時間と 引から発生するパルスのデ 。したがつて、入力信号の 均的な商景電力は、上記パ くらに定めるかにより決せ 安定発表回路(4) は低電力回 てはるかに小さい前妻電力 1 .

でき、これにより、電磁を **
にかえることが容易となり;
中、山頂などの時用電磁の
がきわめて容易となる利点

展を示すプロック図、第2 優時間の長い受信装置にか を示すプロック図である。 …信号検出回路、(3)…大電 ・遊供給スイッチ回路、(5)… ・路(単安定発版回路)、(7) ッチ回路。 ・分は同一もしくは相当部分

五 野 信 一 (外1名)



¥ 2 ⊠

(a) (a) 3 (v) (b) (v) (v) 2 (c) (d) (v) 5 (d) (d)

(14) RECEIVER

(43) 23.6.1983 (19) JP

(11) 58-105632 (A) (22) 17.12.1981

(21) Appl. No. 56-204670 (71) MITSUBISHI DENKI K.K. (72) MIKIO NAKAGAWA

(51) Int. Cl3. H04B1/16,H04B7/24

PURPOSE: To reduce power consumption by intermittently supplying electric

power to a waiting circuit in waiting status. CONSTITUTION: Square wave pulse signals are continuously applied from a

monostable oscillating circuit 6 to a switching circuit 7 to intermittently drive the circuit 7. The circuit 7 supplies electric power to a low power circuit which operates in reception waiting status and actuates the circuit 1 only when the circuit 7 is on. At the reception of radio waves, a detection signal is outputted from a signal detecting circuit 2. The detection signal turns on a switching circuit 4 to actuate an ordinary receiving circuit. At the same time the operation of the monostable oscillating circuit 6 is stopped.

